

## 第 25 回 淡路市議会報告会報告書

淡路市議会議長 土井 晴夫 様

令和 6 年 5 月 18 日

会 場 ふるさとセンター

班 長 土井 晴夫

開催日時	令和 6 年 5 月 18 日 (土) 午前 10 時~12 時
開催会場	ふるさとセンター
出席議員	土井 晴夫、太田 善雄、田尾 成、鎌塚 聡、古山 久則、村田 沙織
参加者数	合 計 7 人 (うち男性 5 人 女性 2 人)

### 2024.5.18 第 25 回淡路市議会報告会 要望・質疑・回答

No.	要望・質疑	回答(済)
1	災害時の避難所に学校を使うのはおかしい。教育を大事にするのであれば考えが矛盾している。専門の避難所を設置すべき。	新しく建築するのは時間的にも厳しい状況です。現在はまずは体育館に集まり、その後に具体的な施設に移動する計画です。今年度の予算にある身近な避難所整備事業を活用して、バリアフリー化などを進めてください。(上限 150 万円)
2	観光客が増えたと言っているが、大手が出てきて地元の事業者などは疲弊している。大手企業などは地元に入らないため、交流も図れない。	そこに関しての影響は大きいと考えます。大手の商業店が進出してきた際に条例改正などの意見もありましたが、実現は難しかったのが現状です。世界的観光立島が市民にも還元できるように考えていきます。
3	津名港と須磨港の実証実験は県が管轄しているのか。津名港は昔に比べて閑散としており、駐車場も空きが多い。何年もずっとそのままで何もしていないのはおかしい。目に見えている所をほったらかしにしている。	実証実験も行っており、将来に期待しています。ご意見として承ります。

No.	要望・質疑	回答(済)
4	地元の商業者もお互いが活性化するように努力すべきである。	ご意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
5	市道に沿っている土地に生えている樹木が生い茂っており、市道にかぶっている。この場合の整備は誰がするのか。	市道にかかっている部分は市が行いますが、費用は土地の持ち主となります。 町内会を通して担当部局に相談してもらうのも良いと思います。 →報告会后、議員も現場確認。
No.	要望・質疑	回答(済)
6	観光客などへの防災意識向上や、災害時の対応のために文書だけでなく、バス停などにQRコードを表示するなどできないか。	良い案だと思いますが、使いこなせない市民も居ますので、両方が必要だと考えます。
No.	要望・質疑	回答(済)
7	パソナの税収はどれくらい入っているのか。他府県の人にも「淡路市はパソナに乗っ取られたね」と言われている。	個別の税収額については分かりませんが、市民税については増加しています。

#### 2024.5.18 第4回意見交換会（まちづくり座談会）意見

No.	意見・要望
1	町内会への市民の加入率はどうなっているのか。町内会に入っていない人は相談や要望などを市役所のどこに言っているのか分からない。税金を払っているのにゴミも集積場に出せないし、町内会に入っていない人は市民ではないのかと思う時がある。
No.	意見・要望
2	町内会は大事だと思う。高齢化で独居の方も増えているので、みんなで支え合うためにも町内会は必要だと思う。若手でもリーダーシップを持って運用できていた、「町内会の必要性」を感じる。
No.	意見・要望
3	市の施設（公民館）などにどれくらい監視カメラが付いているのか。 ふるさとセンターの駐車場で夜中に車で騒いでおり、警察を呼んだりしたが、監視カメラ設置か夜間は駐車場を閉鎖するなどの対応をして欲しい。
No.	意見・要望
4	花火大会について、20年くらいずっと岩屋でしている。シークレット花火の時は西浦でも花火が上がり、大変嬉しかった。開催場所を順番にするなど、他の地域でも開催して地域活性化につなげて欲しい。
No.	意見・要望
5	津名西警察署が派出所に代わってから、警察に連絡しても到着するまでの時間が長くなっている。移住者や観光客が増えて治安も不安なので、何とかしてほしい。